

平成28年10月3日

**「UCDAアワード2016（金融分野）」の受賞について
～ 全国の信用金庫で初の受賞 ～
平成28年11月11日（金）東京都港区 電通ホールにて選考結果報告会**

京都中央信用金庫（理事長 白波瀬 誠）は、一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会が主催する「UCDAアワード2016」の金融分野において、全国の信用金庫で初めて「UCDAアワード2016」を受賞いたしました。

当金庫の住宅ローンは、貸出金（約2兆3千億円）の約半分を占める主力商品であり、年間約7千件のお申込をいただいています。「中信住宅ローン借入申込書」「中信住宅ローン事前審査申込書」について、比較的年齢層の高いお客さまや書類の記入に不慣れな若いお客さまが迷わずに記入・確認いただけるよう、レイアウト・文字・色使い等を抜本的に見直し、シミュレーション上では1件あたり1分44秒の記入時間の短縮となり、全店では年間200時間弱の節約になります。

今回で第7回となるUCDAアワード2016では「情報品質という大きな責任」がテーマであり、今回の受賞は、当金庫の住宅ローン申込書のわかりやすさ、記入しやすさが高く評価され、お客さまと当金庫との「情報の壁」を取り払うことができました。

主な受賞理由

- ・ 専門家による評価、生活者による評価の結果が、共に極めて高い
- ・ 要点を絞った機能的なデザインは専門家、生活者共に高評価
- ・ UCDを情報設計に取り入れ、記入者のストレスや負担を軽減している
- ・ 記入例との対応が容易で、手続きの流れが理解しやすい

当金庫は今後もお客さまのニーズにお応えし、お客さまにとってより見やすくわかりやすく内容をお伝えできるよう努めてまいります。

「第三者」による客観的な評価



UCDAアワードについて

UCDAアワードとは、企業・団体が生活者に提供する様々な情報媒体を、産業・学術・生活者の知見により開発した尺度を使用して「第三者」が客観的に評価し、優れたコミュニケーションデザインを表彰するものです。「UCDAアワード2016」では、生命保険、損害保険、金融（銀行・信用金庫）、自治体、CSR報告書、食品パッケージ（表示）が対象となります。

一般社団法人 ユニバーサル コミュニケーション デザイン協会について

産業・学術・生活者の「集合知」で客観的なわかりやすさの基準づくりを進め、第三者機関としての立場で「わかりやすさ」の認証を推進しています。

以上

☆本件に関するお問い合わせは、
京都中央信用金庫 広報部（TEL075-223-8385 FAX075-223-2563）まで
お願い申し上げます。